

鈴木哲夫 著

『シン・防災論』

『政治の人災』を繰り返さないための完全マニュアル』

(発行) 日刊現代 発売) 講談社

起きてからでは遅すぎる。「災害対策」は過去の教訓から汲み上げよ。

能登半島地震の悲劇

この本は、本誌に長らく「政界展望」を寄稿いただいているジャーナリスト鈴木哲夫氏が、2024年1月1日に発生した能登半島地震の悲劇を取材する際に、実際に現地へ赴いて得たリアルな情報と、そこで痛感した生々しい思いを綴り、その背景にある日本の政府や官僚に潜む、我が国の危機管理における問題点を炙り出した渾身の著である。

鈴木氏は、かねてよりそのライフワークの柱として「自然災害と防災」を掲げており、被災地に赴いて得た事実と、経験から得た行政や政府の問題点を検証していくことで、危機

管理知識の欠如と過去の経験を生かしていない政治に対する提言と、そのような背景の中で日本国民がどのような自然災害に対応していくべきなのかを、わかりやすく実践的に紐解いた防災論と防災マニュアルともいえる。

悲劇の渦中にある能登半島と岸田政権の対応におけるズレを検証しながら、そこに長年の「歴代政権災害対策」への取材から得た著者ならではの視点を加味し、ジャーナリストとしての冷徹な視線と、現地被災者との接点から生まれた寄り添う視線を交えながら、いまそこにある「日本の危機」ともいえる自然災害への対応を、地震のみならず地球温暖化

と世界規模の異常気象。さらにそれがもたらす豪雨や猛暑までも言及し、そうした災害への対応こそ「危機管理」であり、ひいては「安全保障」であるという視点から、今後の災害対応の在り方を問う内容となっている。

そこには、「もはや災害は常軌を逸するレベルだ。それなのに、政府対応は人災」ですらある。過去の教訓を生かせ」という著者の思いが込められているのだ。

教訓から学べ

本書にある通り、能登半島地震は甚大な被害を生んだが、政府による被害者救済、支援策の遅れがあらわ

になった。日本では地震災害は避けられないものの、被害をどう食い止める、被災者を支え、復興を牽引するか、それは政治の責任である。長年、最前線のジャーナリストとして、歴代政権の災害対策を取材し、報じてきた著者は、能登半島地震において過去の教訓が生かされていないことに断腸の思いを抱き、防災論と防災マニュアルの決定版たる本書を書き下ろしたという。

地震大国日本は、この30年で大地震がいくつも発生している。国民の犠牲と引き換えに得たはずのあらゆる経験と教訓は、残念ながら政権に生きていたとは言えない。今後、首都圏直下地震、南海トラフ地震を含

～ 読んでみました ～

む、迫り来る巨大災害に備えて、日本災害史をたどり直し、防災に捧げた先人に訊きつつ書き下ろす、著者のライフワークともいえる内容となっている。

著者は、元官房長官の後藤田正晴氏の「災害が起こった後のことはすべて人災」という言葉を引き、遠く離れた官邸や政府は、現場や被災者の思いを把握できず対策を打って「やっつてる感」に浸りがちな点を突き、そして「あれから何年」というのは政治・行政やマスコミが勝手に作る区切りであって、被災者はあの日を忘れないという、被災地と被災者に寄り添う視点で読者に語り掛ける。

さらに、災害報道においては「誰のために」「何のために」という方向性や専門性がメディアには必要であり、それをメディアに関わるすべての者が議論する必要がある。とジャーナリストとしての著者の立場を再検証する。

本書には書き下ろしに加え、近代消防社「期限切れのおにぎり」大規模災害時の日本の危機管理の真実、毎日新聞出版「平成史全記録」、さら

に「自然災害は有事—政治は被災民に寄り添っているか」といった過去の著述も加えて再構成されている。

主な内容

【目次より】

第1章◎「能登の悲劇」と「慟哭の惨状」

第2章◎政府が繰り返す「被災者とのズレ」

第3章◎災害対応も「安全保障」である

第4章◎被災地で何を見て、何をすべきか

第5章◎日本災害史—政治の大罪を教訓にせよ

阪神淡路大震災／東日本大震災／新潟県中越地震／熊本地震

第6章◎心に刻め！ 先人の言葉と意志

石原信雄（元官房副長官）／武内宏之（元「石巻日日新聞」報道部長）

／村山富市（元首相）／村井嘉浩（宮城県知事）／達増拓也（岩手県知事）

／森民夫（元長岡市長）／サンドウィッチマン（お笑いコンビ）

／小野寺五典（元防衛大臣）／石破茂（元自民党幹事長）

■著者紹介■

鈴木 哲夫（すずき てつお）

1958年福岡県福岡市生まれ。ジャーナリスト。テレビ西日本報道部記者、フジテレビ報道センター出向を経て、1995年東京メトロポリタンテレビジョン（東京MXテレビ）開局メンバー。その後、2007年には日本BS放送（BS11）を立ち上げ、報道局長、キャスターなどを経て、2013年からフリージャーナリスト。政治、災害、事件、福祉など、多岐にわたるテーマを報じ続けている。近著に、『期限切れのおにぎり—日本危機管理の真実』『石破茂の頭の中』ほか多数。



シン・防災論

～「政治の人災」を繰り返さないための完全マニュアル～

鈴木 哲夫（著／文）

ISBN 978-4-06-535718-7 C0036

四六判 256頁 定価：1700円＋税

発行：日刊現代